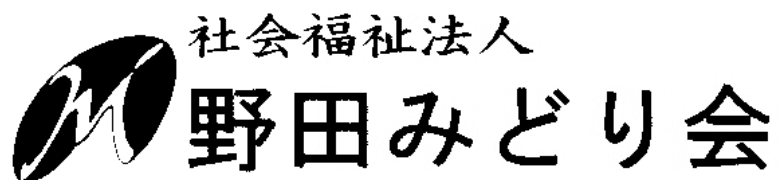


令和3年度

事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)



報告書内容

総括

事業所別報告

- I 法人事務局
- II 鶴寿園事業部
- III 指定管理等事業部

事業所別利用明細表等

【法人理念】 すべての人を幸せに

野田みどり会は、ご利用者様、ご家族様、地域の皆様、職員などすべての人を幸せにすることを法人の使命として、最善のサービスを提供し、地域共生社会の実現に貢献します。

【法人基本方針】

- ・利用者様の目の高さでサービスを提供します。
- ・安全で質の高いサービスを提供します。
- ・サービス内容を利用者様と一緒に考えます。
- ・地域との連携を密にするよう努めます。
- ・職員どうしのコミュニケーションを良くし、いつも研修に努め活力ある法人にするよう努めます。
- ・安心して利用できるよう安定した経営を目指します

【総括】

事業運営につきましては、法人理念である「すべての人を幸せに」と基本方針に基づき取組を実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策においては、職員やご利用者様の感染が発生し、一部の事業所で休業や濃厚接触区域を設定して対応しましたが、感染予防対策を徹底した上で全ての事業の継続を行ってまいりました。

高齢者事業につきましては、経営の基盤となる利用人数の向上に全事業所が取り組み、特に特別養護老人ホーム鶴寿園（従来型・ユニット型）や居宅介護支援事業所が前年度を上回る利用人数を確保しました。また、野田市東高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）開設に向けた準備を予定どおり実施することができました。

障がい者事業につきましては、野田みどり会共同生活援事業所中根の家が1年を通して4人満床で運営することができ、7月には野田みどり会相談支援事業所を開設いたしました。また、障がい者グループホーム新規開設や今後の社会福祉事業の用に供するため土地を取得しました。（野田市鶴奉 84 番地 16 7,918.17 m²）

収入面では、事業収益は特別養護老人ホーム楽寿園において入院者が増加したことやデイサービスセンター鶴寿園において利用取消者が増加したことにより利用者数が減少したため介護保険事業収益が前年度を下回る結果となりましたが、受託料収益の増加によりサービス活動収益は前年度を上回る結果となりました。

人件費につきましては、新卒正職員と嘱託職員の増や退職者の減による常勤職員の増加及び退職共済掛金や社会保険料の増により増額となりました。

事業費につきましては、液化天然ガスなどの高騰に起因する燃料費調整単価の増額により、電気、ガスの光熱費の増及び賃借料の増により増額となりました。

事務費につきましては、業務委託費と勤怠管理システム導入による通信運搬費が増額しましたが、消耗品費や手数料の減額により、前年度とほぼ同水準となりました。

この結果、資金収支計算書の事業活動収入は0.5%増の1,444,417千円、事業活動支出は3.6%増の1,307,927千円、事業活動収支差額は22.8%減の136,490千円となりました。

当期の業績（事業活動計算書による）

| | | | |
|------------|-------------|-----|--------|
| サービス活動収益 | 1,436,262千円 | 前年比 | 0.5%増 |
| サービス活動費用 | 1,373,741千円 | 前年比 | 3.5%増 |
| サービス活動増減差額 | 62,521千円 | 前年比 | 39.7%減 |
| 経常増減差額 | 62,515千円 | 前年比 | 39.7%減 |
| 当期活動増減差額 | 59,244千円 | 前年比 | 42.6%減 |

※各事業拠点の状況は、後述します。

【事業所別報告】

I 法人事務局

1 取組内容

- ①勤怠管理システムを運用開始しました。導入当初、設定等に時間を要しましたが月次の勤怠管理だけでなく日々の勤怠状況をリアルタイムに確認することが可能となり職員の労働環境改善につなげることができました。また、給与明細も電子化しインターネット経由で配信することで紙からデータとなり、事務の効率化が図れるとともに紛失による個人情報漏洩リスクの軽減や紙・印刷コストを削減することができました。
- ②新型コロナウイルス感染症関連助成金等の手続業務については、仕様変更にも対応した適正な手続業務を実施することができました。
- ③職員の資格取得及びキャリアアップのため介護福祉士実務者研修を法人内で1回開催し、9人が介護福祉士実務者研修資格を取得。内、1人が介護福祉士国家試験に合格しました。
- ④新卒者採用活動では随時会社説明会や採用面接試験を実施し、会社説明会には51人、採用面接試験には26人が参加され、新卒者5人を採用しました。

2 理事会・評議員会

(1) 理事会 9回開催 場所：鶴奉第一自治会館

特別養護老人ホーム鶴寿園（従来型）地域交流室

| 開催日時 | 議案 |
|-----------------------|--------------------------------|
| 令和3年6月8日(火) 午後2時から | 令和2年度事業報告書について 令和2年度決算書について |
| 出席者数 | 定時評議員会の開催について |
| 理事7人 監事1人 | 評議員候補者の推薦について |

| | |
|---|--|
| | <p>評議員選任・解任委員会の招集について</p> <p>評議員選任・解任委員の選任について</p> <p>理事及び監事の選任について</p> <p>特別養護老人ホーム野田市楽寿園の運営推進委員の選任について</p> <p>相談支援事業所の指定申請について</p> <p>定款の変更について</p> <p>野田みどり会相談支援事業所運営規程の制定について</p> <p>組織及び職務権限に関する規程等の一部改正について</p> <p>上期賞与の支給について</p> <p>令和3年度資金収支予算の補正について</p> <p>社会福祉充実残額について</p> <p>理事長の職務の執行等について</p> |
| <p>令和3年6月25日(金)</p> <p>午後2時から</p> <p>出席者数</p> <p>理事7人 監事2人</p> | <p>理事長の互選について</p> <p>理事長の報酬金額の決定について</p> <p>評議員会の決議の省略(みなし決議)について</p> |
| <p>令和3年9月17日(金)</p> <p>午後2時から</p> <p>出席者数</p> <p>理事7人 監事2人</p> | <p>土地の購入について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不動産鑑定価格に基づく購入価格に関する協議 ・購入予定地の利用案について <p>令和3年度経営状況について</p> <p>新型コロナウイルス感染症に係る状況について</p> <p>令和4年度職員採用状況について</p> |
| <p>令和3年10月29日(金)</p> <p>午後2時から</p> <p>出席者数</p> <p>理事7人 監事2人</p> | <p>令和3年度上期事業報告について</p> <p>非常勤職員就業規則の一部改正について</p> <p>令和3年度資金収支予算の補正について(二次)</p> <p>令和3年度下期賞与総額の決定について</p> <p>介護保険法及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律に基づく指定事業者の指定更新について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野田市岩木小学校老人デイサービスセンター ・野田市心身障がい者福祉作業所 ・野田市立あおい空 <p>「野田市東地域包括支援センター」の新規設置に伴う対応について</p> <p>土地の購入について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入価格に関する協議 ・障がい者グループホーム事業計画案 ・購入予定地の残地利用計画案 <p>理事長職務の執行について</p> |
| <p>令和3年11月15日(金)</p> <p>午後2時から</p> | <p>土地の購入について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入価格に関する協議 |

| | |
|---|---|
| <p>出席者数 理事7人 監事2人</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者グループホーム事業計画案 ・残地利用計画案 <p>令和3年度資金収支予算の補正について(三次)</p> |
| <p>令和4年1月7日(金) 午前10時から 出席者数 理事7人 監事2人</p> | <p>土地売買契約の締結について 令和3年度資金収支予算の補正について(第4次) 野田市心身障がい者福祉作業所の指定管理者申請について 鶴奉84番16の土地利用長期構想(素案)について 野田市東地域包括支援センター(高齢者なんでも相談室)の運営業務委託プロポーザル応募について</p> |
| <p>令和4年2月4日(金) 午後2時から 出席者数 理事6人 監事2人</p> | <p>職員給与規程の一部改正について 非常勤職員就業規則の一部改正について ヘルパー就業規則の一部改正について 職員給与の昇給資金量について 令和3年度資金収支予算の補正について(第5次) 評議員会の招集について 土地売買契約の締結について 野田市東地域包括支援センター(高齢者なんでも相談室)の運営業務委託契約の締結について</p> |
| <p>令和4年3月1日(火) 午後2時から 出席者数 理事6人 監事2人</p> | <p>育児休業等に関する規則の一部改正について 介護休業等に関する規則の一部改正について 組織及び職務権限に関する規程等の一部改正について 指定介護予防支援事業所運営規程の制定について 第六期3か年事業計画について 土地利用長期構想について 共同生活援助事業所整備事業に係る公募型プロポーザルの実施について 理事長職務の執行について 地域包括支援センター設置届出書及び野田市指定介護予防支援事業所指定申請書について</p> |
| <p>令和4年3月15日(火) 午後2時から 出席者数 理事7人 監事1人</p> | <p>定款の変更について 令和4年度事業計画書について 令和4年度資金収支予算書について 指定管理者基本協定書の締結について 令和4年度指定管理者年度協定書の締結について 令和4年度業務委託等の契約締結について 苦情解決第三者委員の選任について 特別職員の給与の決定について</p> |

(2) 評議員会 2 回開催 場所：鶴奉第一自治会館

| 開催日時 | 議案 |
|---------------------------------------|---|
| 令和3年6月25日(金) 午前10時から 出席者数 評議員5人 | 令和2年度決算書について 理事の選任について 定款の変更について(書面) 令和2年度事業報告について 社会福祉充実残額について |
| 令和4年3月25日(金) 午後2時から 出席者数 評議員7人 | 定款の変更について 令和4年度業務計画書について 令和4年度資金収支予算書について |

3 監査等

| 内容 | 実施日時 | 対象事業所 | 結果(通知) |
|------|----------------------------|-------|--|
| 監事監査 | 令和3年5月28日(金) 午後3時から | 全事業所 | 事業報告等監査結果 事業報告は、法令、定款に従い正しく示している。理事の職務執行に関する不正行為、法令定款に違反する重大な事実はありません。 計算関係書類及び財産目録 法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。 |
| 指導監査 | 令和3年10月20日(水) 午後1時30分から | 法人 | 社会福祉法第56条の規定により指導監査したところ、おおむね適切に運営されていると認められました。 |

4 人事関係調書

採用者は、正規職員14人、嘱託職員及び非常勤職員8人、退職者は、正規職員10人、嘱託職員及び非常勤職員10人と採用者が上回ることとなりましたが、引き続き人材確保に苦慮している状況にあります。

新卒者の確保につきましては、昨年度は12人で、本年度は大学卒業者1人、専門学校卒業者3人、高等学校卒業者1人の計5人を確保することができました。

在職者

(令和4年3月31日現在)

| 雇用形態 | 職員数 (人) | | 平均年齢 (歳) | | 平均勤続年数 (年) | |
|-------|---------|-------|----------|-------|------------|--------|
| | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和2年度 |
| 総計 | 249 | 246 | 41.0 | 48.0 | 9年3か月 | 8年1か月 |
| 正職員 | 148 | 141 | 39.8 | 40.8 | 9年11か月 | 9年9か月 |
| 非常勤職員 | 92 | 100 | 58.0 | 57.7 | 7年11か月 | 7年0か月 |
| 嘱託職員 | 8 | 4 | 61.7 | 62.3 | 11年1か月 | 10年3か月 |
| 特別職員 | 1 | 1 | 63.0 | 62.0 | 2年11か月 | 1年11か月 |

採用者・退職者 (平均勤続年数)・離職率 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

| 雇用形態 | 採用者 (人) | | 退職者 (人) | | 退職者の平均勤続年数 (年) | | 離職率 (%) | |
|-------|---------|-------|---------|-------|----------------|--------|---------|-------|
| | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和2年度 |
| 総計 | 22 | 30 | 20 | 22 | 7年11か月 | 4年5か月 | 8.0% | 8.9% |
| 正職員 | 14 | 16 | 10 | 11 | 8年7か月 | 3年7か月 | 6.8% | 7.8% |
| 非常勤職員 | 4 | 12 | 10 | 10 | 7年5か月 | 3年7か月 | 10.9% | 10.0% |
| 嘱託職員 | 4 | 2 | 0 | 1 | | 20年4か月 | 0.0% | 25.0% |
| 特別職員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% | 0.0% |

II 鶴寿園事業部

1 特別養護老人ホーム鶴寿園 (従来型)

(1) 取組内容

- ① トータルケアについて、入院対策として状態変化の早期発見に努め、多職種で情報の共有を行うことで、重症化を防ぎ入院者数9人と減らすことができました。また、ご家族様にも迅速に連絡を取り、事前に意向の確認や今後の方向性を決めておくことで看取りや入院対応しました。事故対策につきましては、毎月の事故対策検討会議や研修会を開催し、ヒヤリハットの重要性、事故に対する意識、危機管理体制を高めたことで事故件数の減少につながりました。
- ② 退居から次の入居までの期間を5日とし、入居待機者を5人以上確保することで、長期の空床期間がないよう入居調整を行い、平均4.7日以内に入居へ移行することができました。入院延日数が前年度より335日減で、目標とする平均入居者数は昨年より1人増となりましたが、目標達成には至りませんでした。
- ③ 感染症の研修を実施し、職員が感染症を持ち込まないよう体調管理をし、ご利用者様にも感染予防対策を行うことができました。ご利用者様の体調不良時には早期に看護職員に報告をし、感染防止に努め、ご利用者様の新型コロナウイルス感染はありませんでした。

(2) 利用実績

| 特別養護老人ホーム鶴寿園（従来型） | 特養(1日) | 短期入所(1日) |
|-------------------|--------|----------|
| 定員 | 54人 | 16人 |
| 令和3年度目標平均入居者数(1日) | 53.0人 | 14人 |
| 令和3年度実績平均入居者数(1日) | 52.9人 | 14人 |
| 達成率 | 99.8% | 100% |
| 令和2年度実績平均入居者数(1日) | 51.9人 | 13.2人 |

サービス活動収益につきましては、前年比 1.6%増の 283,863 千円となりました。主な要因は、利用者数の増加による介護報酬収益の増によるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比 3.5%増の 261,471 千円となりました。主な要因は水道光熱費と人件費の増によるものです。

その結果、(当期活動増減)差額につきましては、土地購入による拠点区分間繰入金(15,000 千円)があり、△4,904 千円となりました。

2 特別養護老人ホーム鶴寿園（ユニット型）

(1) 取組内容

①年間 30 床の退所がある中で、入居検討委員会を情報が揃った方から随時開催することによって待機者情報を多職種で共有することに努めました(年間 16 回開催)。稼働率について、令和 2 年度 97.37%から令和 3 年度 98.0%と 0.63%向上することができました。

②トータルケアの中で食事に関する研修会を実施し、食事の基本知識について学ぶ機会を設けました。誤嚥性肺炎による入院者の低減を目的としました。ミールラウンドを実施することにより、多角面からのリスク回避を検討した結果、誤嚥性肺炎による入院者は無く、前年に比べて入院日数が 175 日減少しました。

事故対策については、事故ヒヤリハットの研修を実施するなど意識付けすることで事故件数 349 件(SS12 件)に対し、ヒヤリハット 905 件(43 件)と事故件数を上回り、危険予測、予防対策に努めました。入居前の検討委員会で事前情報を基に安全対策について検討することで事故リスク回避に繋げることができました。

③職員入職時の標準予防策研修、感染症対策の研修を実施。毎日の体調確認を実施し「持ち込まない」よう感染対策に努め、ご利用者様の新型コロナウイルス感染はありませんでした。

(2) 利用実績

| 特別養護老人ホーム鶴寿園（ユニット型） | 特 養 | ショート |
|----------------------|--------|--------|
| 定 員 | 90 人 | 10 人 |
| 令和 3 年度目標平均入居者数(1 日) | 88 人 | 8.8 人 |
| 令和 3 年度実績平均入居者数(1 日) | 88.2 人 | 9.0 人 |
| 達 成 率 | 100.3% | 102.0% |
| 令和 2 年度実績平均入居者数(1 日) | 87.6 人 | 8.8 人 |

サービス活動収益につきましては、前年比 0.6%増の 509,361 千円となりました。主な要因は、利用者数の増加による介護報酬収益の増によるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比 2.4%増の 453,320 千円となりました。主な要因は水道光熱費と人件費の増によるものです。

その結果、(当期活動増減)差額につきましては、土地購入による拠点区分間繰入金（45,000 千円）があり、△19,948 千円となりました。

3 デイサービスセンター鶴寿園

(1) 取組内容

- ①ご利用者様主体のサービスのために、職員会議を定期開催し、ご利用者様やご家族様の要望を共有し、サービスの質の向上へ向けた職員間のコミュニケーションを活発にすることで、ご利用者様個々のサービス内容の見直しを重ねてきました。
- ②ご利用者様担当制を継続してきたことで、より深く関わりができるようになり、担当するご利用者様のサービス提供の経過やモニタリングにより居宅介護支援事業所ケアマネージャーとの情報交換に繋げてきました。
- ③日々の業務において業務リーダーを設定し、フロア全体の進捗状況の把握や職員間の連携及び指示により、円滑なサービス提供となるよう取り組み、ご家族様や外部事業所からの問合せへの対応も兼ねることで、フロアの雰囲気や迅速に伝えられる役割を構築してきました。

(2) 利用実績

| デイサービスセンター鶴寿園 | 定 員 | 営業日数 | 平均利用者数(1 日) |
|---------------|------|-------|-------------|
| 令和 3 年度目標 | 30 人 | 365 日 | 22.0 人 |
| 令和 3 年度実績 | 30 人 | 365 日 | 20.2 人 |
| 達 成 率 | | | 92% |
| 令和 2 年度実績 | 30 人 | 365 日 | 21.4 人 |

サービス活動収益につきましては、前年比 6.0%減の 69,456 千円となりました。主な要因は、利用取消者の増加と営業活動機会の縮小に起因して新規利用者が減少し、利用者数が減少したことによるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比 2.5%減の 62,186 千円となりました。主な要因は人件費の減によるものです。

その結果、(当期活動増減) 差額につきましては、土地購入による拠点区分間繰入金 (10,000 千円) があり、△4,140 千円となりました。

4 鶴寿園訪問介護事業所

(1) 取組内容

- ① サービス提供責任者の業務を北部地区、中央地区、南部地区と担当を分担し、より最適な訪問介護計画書を作成したことで、より細やかなサービスの提供が行うことができました。
- ② 感染予防の観点から、職員会議及び研修については開催日を複数回設定し実施しました。また、研修は全体研修に加え、個別研修にも取り組めるようインターネット配信形式の研修を実施しました。
- ③ 基幹システムの活用により、リアルタイムにサービス提供状況を把握することで、職員及び関係機関との連携強化を図ることができました。

(2) 利用実績

| 鶴寿園訪問介護事業所 | 利用人数 | 営業日数 | 平均稼働時間(月) |
|------------|-------|------|-----------|
| 令和3年度目標 | 90人 | 365日 | 800時間 |
| 令和3年度実績 | 92人 | 365日 | 713.3時間 |
| 達成率 | 81.9% | | |
| 令和2年度実績 | 89人 | 365日 | 726.3時間 |

サービス活動収益につきましては、前年比 0.8% 減の 38,268 千円となりました。主な要因は、訪問介護員数減による提供可能時間の縮小によって、稼働時間が減少したことによるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比 2.48% 増の 35,042 千円となりました。主な要因は人件費の増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、2,275 千円となりました。

5 鶴寿園居宅介護支援事業所

(1) 取組内容

- ① 新型コロナウイルスの感染対策として、緊急事態宣言期間やまん延防止重点措置が適用された期間に関しては定期訪問を自粛し、電話やメールを活用してご家族様やサービス事業所との連絡を行い、モニタリングや生活状況等の情報を収集して適宜対応が取れるようにしました。前年度同様に直接の訪問が減少しましたが、ICTの活用により非接触でも適切なケアマネジメントが行うことができました。
- ② ご利用者様やご家族様の解決すべき課題や要望等が多岐にわたる中でも適切な介護サービスが滞ることなく適切かつ効果的に提供されるよう、サービス事業所等の情報共有を事業所会議で行い事前準備を行いました。
- ③ 昨年度同様に新型コロナウイルス感染対策で対面での研修はほとんど開催されず、オンライン研修の形になりましたが、ZOOM を活用して必要な

研修を受講することができました。

- ④各地域包括支援センターや医療機関からの依頼に対して極力断らないことを意識して新規依頼に対応し、年間167件の新規相談に対して、地域包括支援センターからは110件、医療機関からは4件、家族からは37件の相談を受け、90件の契約をした結果、契約者増となりましたが、緊急の依頼に対応できない等、事業所としての課題も明確になりました。

(2) 利用実績

| 鶴寿園居宅介護支援事業所 | 営業日数 | 平均利用者数(1月) |
|--------------|------|------------|
| 令和3年度目標 | 258日 | 210人 |
| 令和3年度実績 | 258日 | 203人 |
| 達成率 | | 96.7% |
| 令和2年度実績 | 258日 | 180.7人 |

サービス活動収益につきましては、予定人員の未配置により、平均利用者数は目標達成に至りませんでした。前年比12.1%増の34,274千円となりました。主な要因は利用者数の増加による介護報酬収益の増によるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比6.9%減の26,638千円となりました。主な要因は、人件費の減によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、7,103千円となりました。

Ⅲ 指定管理等事業部

1 複合老人ホーム野田市楽寿園(養護老人ホーム・特別養護老人ホーム)

(1) 取組内容

- ①研修会を実施し、日々感染症対策に意識を向け業務に当たりました。令和4年3月、ご利用者様2人職員1人が新型コロナウイルス陽性と判定されましたが、感染症対策を徹底することで、クラスターになることなく終息しました。
- ②ご利用者様が日常を心豊かに過ごしていただけるよう、感染症対策を講じながら、季節の行事、買い物ツアー等を行いました。また、ご利用者様への接遇について会議にて話し合いを行い、接遇チェックシートを業務前に確認することで、接遇への意識改善が見られました。
- ③新型コロナウイルスの増加に伴い、防犯パトロールや環境美化運動といった地域の活動は出来ませんでした。東部小・中学校や公民館のペットボトルキャップの回収活動を行い、年間合計111.0kg(約47,730個)分を回収しました。

(2) 利用実績

| 複合老人ホーム野田市楽寿園 | 特 養 | 養 護 |
|----------------------|--------|--------|
| 定 員 | 29 人 | 41 人 |
| 令和 3 年度目標平均入居者数(1 日) | 28.0 人 | 30.0 人 |
| 令和 3 年度実績平均入居者数(1 日) | 27.0 人 | 30.3 人 |
| 達 成 率 | 96.4% | 101.0% |
| 令和 2 年度実績平均入居者数(1 日) | 28.8 人 | 30.1 人 |

※ 養護の目標平均入居者数は予算定員

サービス活動収益につきましては、前年比 3.9%減の 204,603 千円となりました。主な要因は、入院日数の増加により、利用率が減少したことによるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比 2.3%増の 202,180 千円となりました。主な要因は、職員配置による人件費の増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては△6,618 千円となりました。

2 野田市岩木小学校老人デイサービスセンター

(1) 取組内容

- ①新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、外出行事や岩木小学校との交流、ボランティアの受入れは引き続き中止となりました。身体機能訓練と認知症予防の脳機能訓練については、実施状況を評価しながら実践しました。軽度利用者が多い中、楽しみながら参加できるよう、会議で内容を精査しご利用者様自ら参加し、達成感を感じられるプログラムを考え提供することができました。
- ②利用登録者数、送迎ルート管理、空き状況、利用状況等を職員間で共有するとともに、ご家族様や担当介護支援専門員への連絡がスムーズにできる体制を構築することで、職員及び関係機関等との連携強化を図ることができました。
- ③新型コロナウイルス感染症感染拡大により、対面での営業活動を一時中止することがありましたが、サービスの取組状況や空き状況などを織り込んだ広報誌を作成し、継続した営業活動を実施しました。

(2) 利用実績

| 野田市岩木小学校老人デイサービスセンター | 定 員 | 営業日数 | 平均利用者数(1 日) |
|----------------------|------|-------|-------------|
| 令和 3 年度目標 | 25 人 | 310 日 | 19.5 人 |
| 令和 3 年度実績 | 25 人 | 310 日 | 18.2 人 |
| 達 成 率 | | | 93.3% |
| 令和 2 年度実績 | 25 人 | 310 日 | 18.3 人 |

サービス活動収益につきましては、前年比 6.3%減の 40,606 千円となりました。主な要因は、前年度は、コロナ対策のための介護報酬の救済処置 1,200 千円及び、車両購入のための補助金 1,100 千円があり増収だったこと、

並びに入浴介助加算 200 千円の減額、サービス提供体制加算（介護福祉士資格取得職員の割合による加算）が 3 段階の最上位から最下位へ変更 700 千円の減額によるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比 2.9% 増の 42,680 千円となりました。主な要因は、人件費と業務委託費の増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、△2,390 千円となりました。

3 野田市心身障がい者福祉作業所

(1) 取組内容

- ① ご家族様との日々の連絡や情報交換によって、現状の解決すべき課題について他の社会資源と連携しながら虐待やグループホーム入居等の家庭での課題解決に繋げました。
- ② 自主生産品の販売会は新型コロナウイルスの影響で実施できませんでしたので、販路拡大を目標としましたが、協力販売店舗での販売数も減少傾向で現状の需要を鑑み下請作業の受注量を増加して対応することで工賃支給額の大きな変動はありませんでした。
- ③ 自主生産品の新たな需要を獲得するため、法人内の介護用品に係る新商品（ウロカバー、ベッド柵カバー）の開発を行いました。今後は他法人への販売を視野に営業を行っていきます。

(2) 利用実績

| 野田市心身障がい者福祉作業所 | 生活介護事業所 | | 就労支援 B 型事業所 | |
|----------------|---------|-----------|-------------|---------|
| | 令和 3 年度 | 令和 2 年度 | 令和 3 年度 | 令和 2 年度 |
| 定 員 | 25 人 | 25 人 | 15 人 | 15 人 |
| 営 業 日 数 | 243 日 | 245 日 | 243 日 | 245 日 |
| 目標平均利用者数(1 日) | 26.9 人 | 28.4 人 | 12.4 人 | 10.7 人 |
| 実績平均利用者数(1 日) | 27.3 人 | 27.7 人 | 11.3 人 | 11.1 人 |
| 達 成 率 | 101.4% | 97.5% | 91.1% | 103.7% |
| (就労支援 B 型) | | 令和 3 年度 | 令和 2 年度 | |
| 目標年間作業 収入年間 | 目 標 | 1,080 千円 | 1,615 千円 | |
| | 実 績 | 902 千円 | 1,563 千円 | |
| | 達成率 | 83.5% | 96.8% | |
| 1 人平均月額工賃 | 目 標 | 6,000 円以上 | 8,100 円以上 | |
| | 実 績 | 4,775 円 | 5,164 円 | |
| | 達成率 | 79.5% | 63.8% | |

定員の 125% 利用可

サービス活動収益につきましては、前年比 2.8% 減の 85,331 千円となりました。主な要因は、就労継続支援 B 型の制度改正による加算率の低下により前年度途中から登録者は増加したものの訓練等給付費の微増にとどまった。また、生活介護のご利用者様が前年度比 2 人減となったことと、開所日

が前年比 2 日減となったことによるものです。

サービス活動費用につきましては、前年比 1%減の 74,567 千円となりました。主要因は、人員配置人数の減による人件費（434 千円減）、自主生産品の下請作業中心にしたことで材料費減による就労支援事業費用（349 千円減）、欠席に係る給食費（333 千円減）によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、8,482 千円となりました。

4 野田みどり会共同生活援助事業所中根の家

(1) 取組内容

- ①新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に引き続き令和 3 年度も自治会総会や地域の運動会等は中止となりました。地域交流が難しい中ですが、回覧板のやり取り等のご利用者様と共に行いご近所様との関わりをサポートしました。
- ②利用状況については、4 月から 4 人満床でのスタートとなっています。
- ③新型コロナウイルス感染症予防のため、各自部屋で過ごす協力を仰ぐとともに、食事は個別対応とさせていただきます。引き続き予防に務めていきます。外食が難しい為、食べたい物のリクエストを収集してイベント食として提供して食事を楽しめるよう工夫し、ストレス軽減に務めました。

(2) 利用実績

| 障がい者グループホーム 中根の家 | 定員 | 共同生活援助 | 短期入所 (空床型) | 日中一時支援 |
|---------------------|-----|--------|---------------|-----------|
| 令和 3 年度目標 | 4 人 | 4 人 | 人 | 5,000 円/月 |
| 令和 3 年度実績 | 4 人 | 3.9 人 | 人 | 6,386 円/月 |
| 達成率 | | 98.8% | % | 127% |
| 令和 2 年度実績 | 3 人 | 3.5 人 | 0.0 人 | 年間 1 人 |

サービス活動収益につきましては、前年比 12%増の 13,020 千円となりました。主な要因は、4 月より 4 人満床でスタートし維持できたことです（延べ人数 1352 人増）。日中一時事業についてもコロナ感染症による緊急事態宣言明けより利用増となりました（年間延べ人数 22 人）。

サービス活動費用につきましては、前年比 29%増の 15,374 千円でした。主な要因は、管理者の専従要件を満たすための人員配置の増により、人件費 44%増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、△2,191 千円となりました。

5 野田市立あおい空

(1) 取組内容

- ①年度末に満足度調査と意向調査を行い、希望に沿った個別支援計画を作成しました。ご利用者様の状況に合わせた支援、日常的な会話からも相談に応じることで満足度の高い評価をいただきました。

②機能訓練では大学教授による研修会参加、理学療法士や作業療法士から指導を仰ぎ活動に活かしました。またそれ以外の活動では、創作活動で貼り絵や書道などの政策に取り組みました。

③日中一時、短期入所ともに、希望に沿った利用で日程調整しました。利用者延人数として、日中一時は 200 人増、短期入所は 29 人増でした。

(2) 利用実績

| 野田市立あおい空 | 定員 | 営業日数 | 平均利用者数(1日) |
|----------|-------|-------|------------|
| 令和3年度目標 | 20人 | 233日 | 18人 |
| 令和3年度実績 | 20人 | 232日 | 18人 |
| 達成率 | 100% | | |
| 令和2年度実績 | 20人 | 233日 | 16.7人 |
| サービス | | 日中一時 | 短期入所 |
| 定員 | | 6人 | 3人 |
| 営業日 | 令和3年度 | 278日 | 135日 |
| | 令和2年度 | 278日 | 135日 |
| | 増減 | — | — |
| サービス | | 日中一時 | 短期入所 |
| 利用者延人数 | 令和3年度 | 1041人 | 311人 |
| | 令和2年度 | 841人 | 282人 |
| | 前年比 | 123%増 | 110%増 |
| 1日当り平均人数 | 令和3年度 | 3.7人 | 2.3人 |
| | 令和2年度 | 3.0人 | 2人 |
| | 前年比 | 123%増 | 115%増 |

サービス活動収益につきましては、前年7%増の154,588千円でした。要因としては、ご利用者様1人増に伴う支援員の増配及び送迎業務委託費の増による指定管理料の増額が主となっています。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比13%増の140,744千円となりました。主な要因は人件費9,557千円増、事業費1,320千円増、事務費5,630千円増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、2,779千円となりました。

6 野田みどり会相談支援事業所

(1) 取組内容

①法人内の障がい事業所（福祉作業所・あおい空・中根の家）のご利用者様に利用促進の広報を行い、43%の方が当事業所に契約変更していただきました（R4.3.31現在）。

②法人外の障害者の利用希望に対応したことをきっかけに、就労系の相談支援、特別支援学校の進路相談、病院の長期入院患者の地域生活移行等の関わりを持つことができ、対応の幅を拡げることにつながりました。

(2) 利用実績

| 野田みどり会相談支援事業所 | 計画作成 | 継続支援 |
|---------------|--------|-------|
| 令和3年度目標 | 67人 | 221人 |
| 令和3年度実績 | 69人 | 118人 |
| 達成率 | 102.7% | 53.5% |
| 令和2年度実績 | - | - |

サービス活動収益につきましては、計画比 22.7%減の 2,714 千円となりました。主な要因は、モニタリング件数が、計画比 53.5%に留まったことによります（計画作成件数は、102.7%）。

サービス活動費用につきましては、計画比 4.4%増の 3,342 千円でした。その結果、当期活動増減差額につきましては、△539 千円となりました。